



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流
コード番号 9055 URL <https://www.alps-logistics.com/jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 臼居 賢
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 亀田 智文 TEL 045-532-1982
経営企画・ESG担当
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	89,505	△4.0	4,554	△32.0	4,879	△33.6	2,879	△32.1
2023年3月期第3四半期	93,235	9.2	6,695	41.4	7,346	60.7	4,240	59.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,002百万円 (△23.5%) 2023年3月期第3四半期 5,229百万円 (32.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	81.23	81.07
2023年3月期第3四半期	119.72	119.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	100,400	64,026	58.9	1,666.88
2023年3月期	97,283	62,257	58.9	1,618.10

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 59,108百万円 2023年3月期 57,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	16.00	—	28.00	44.00
2024年3月期	—	22.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	1.5	6,700	△16.7	6,200	△29.5	3,800	△24.5	107.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	35,488,600株	2023年3月期	35,474,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	27,928株	2023年3月期	47,488株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	35,449,143株	2023年3月期3Q	35,416,995株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月～12月)における世界経済は、米国では雇用環境や個人消費が堅調に推移し、全体として景気は底堅く推移しました。欧州ではインフレ圧力は緩和傾向にありますが、金融引き締めの影響により景気は低迷しています。中国では不動産販売の不振や、世界的な財需要の低下による輸出の停滞など経済成長は力強さを欠く状況が続いています。日本経済は、インバウンド消費などを中心に緩やかに回復がみられ、製造業においては販売が堅調に推移した自動車が増産となりましたが、在庫調整の進展はあるものの産業用機械や電子部品などは弱含みで推移しました。

このような事業環境下、3カ年の第5次中計2年目の当期は、引き続き基本方針を「地球と社会にやさしく・最適物流の追求と進化」とし、次の戦略・施策を推進しグローバルにビジネスの拡大を図っております。

- ①G T B (Get The Business / 市場と商品の拡大) : ビジネス領域の拡大。グローバルネットワークの充実。協創・提携体制の拡大。
- ②G T P (Get The Profit / 間・直の生産性向上) : 省人化・自働化の推進。戦略投資の拡大と確実な刈取り。DXへチャレンジ。
- ③G T C (Get The Confidence / サステナビリティの追求) : ESG対応の強化、安全・高品質の維持確保。非財務資本の維持・強化。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は89,505百万円(前年同期比 4.0%減)、営業利益は4,554百万円(同 32.0%減)、経常利益は4,879百万円(同 33.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,879百万円(同 32.1%減)となりました。

<セグメントの概況>

①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界においては、半導体不足の解消など車載関連の生産は回復基調となりましたが、産機用部品は設備投資の低迷などで低調に推移しました。パソコン、スマートフォンなどの民生機器、情報通信機器関連の生産は停滞が継続しました。

当第3四半期連結累計期間においては、倉庫の拡張や新規顧客の拡販活動などに取り組んでおります。しかしながら、生産停滞による貨物取扱量の減少、国際輸送においては航空貨物の減少や競争環境の激化などにより売上高は減収となりました。利益面では、生産性向上に取り組む一方で、荷動きの停滞に伴う効率悪化などの影響により減益となりました。

当セグメントの業績は、売上高47,357百万円(前年同期比 11.6%減)、営業利益2,709百万円(同 42.8%減)となりました。

②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品に関連する包装資材・成形材料・電子デバイスの販売を行っています。当社では、調達と物流を一元化した電子デバイスの調達代行の提案、物流改善を意識した包装資材の提案を特長としております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、海外向けの車載関連で電子デバイスの販売が増加したことから、売上高が増加しました。利益については、原価率上昇などの影響により減益となりました。

当セグメントの業績は、売上高20,347百万円(前年同期比 9.1%増)、営業利益878百万円(同 7.7%減)となりました。

③消費物流事業

消費物流分野では、宅配サービスや通販ビジネスの成長に伴って需要が拡大している一方、ドライバーを始めとする人材確保・育成が、業界全体の課題となっています。

このような事業環境下、当社グループで消費物流を担う(株)流通サービスは、消費物流の川上にあたる企業間物流の取り込み、メディカル・化粧品などの商品センター業務の拡大、生協宅配ビジネスの拡大に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、生協宅配エリアの拡大などにより、取扱量は前年並みとなりました。通販・EC物流では、荷動きが堅調に推移したことなどにより売上高が増加しました。利益については、自動化による効率の改善、固定費削減などにも取り組みましたが、倉庫増床による賃借料、減価償却費などのコスト増加要因があり減益となりました。

当セグメントの業績は、売上高21,800百万円(前年同期比 3.8%増)、営業利益966百万円(同 4.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

前連結会計年度末と比較した当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

資産については、流動資産は、現金及び預金などが減少しましたが、受取手形及び営業未収金などの増加により、74百万円増加しました。固定資産は、主に有形固定資産の増加などにより3,042百万円増加しました。これにより資産合計は、前連結会計年度末比3,116百万円増の100,400百万円となりました。

負債については、営業未払金の増加などによって流動負債は710百万円増加しました。固定負債はリース債務を含むその他の増加などにより637百万円増加しました。これにより負債合計は、前連結会計年度末比1,348百万円増の36,374百万円となりました。

純資産については、利益の確保による増加、為替換算調整勘定の増加などに対し、配当金支払による減少などがあり、前連結会計年度末比1,768百万円増の64,026百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末と同じく58.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年4月28日付「2023年3月期決算短信」で開示した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,264	25,396
受取手形及び営業未収金	17,578	19,262
商品	1,968	2,025
その他	2,740	2,942
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	49,534	49,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,609	12,805
土地	18,008	18,060
その他(純額)	10,062	12,801
有形固定資産合計	40,680	43,667
無形固定資産		
その他	3,862	3,875
無形固定資産合計	3,862	3,875
投資その他の資産		
投資有価証券	177	252
その他	3,029	2,999
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	3,206	3,249
固定資産合計	47,749	50,792
資産合計	97,283	100,400
負債の部		
流動負債		
営業未払金	11,147	13,022
短期借入金	2,918	2,834
未払法人税等	1,262	236
賞与引当金	1,972	957
役員賞与引当金	—	24
その他	6,166	7,101
流動負債合計	23,467	24,178
固定負債		
長期借入金	4,200	4,200
役員退職慰労引当金	37	33
退職給付に係る負債	1,938	2,034
その他	5,383	5,928
固定負債合計	11,558	12,196
負債合計	35,026	36,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,349	2,353
資本剰余金	2,030	2,049
利益剰余金	50,956	52,063
自己株式	△33	△19
株主資本合計	55,301	56,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	98
為替換算調整勘定	2,165	2,725
退職給付に係る調整累計額	△189	△162
その他の包括利益累計額合計	2,022	2,661
新株予約権	53	44
非支配株主持分	4,879	4,873
純資産合計	62,257	64,026
負債純資産合計	97,283	100,400

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	93,235	89,505
売上原価	80,746	78,687
売上総利益	12,488	10,817
販売費及び一般管理費	5,793	6,263
営業利益	6,695	4,554
営業外収益		
受取利息	63	76
受取配当金	6	10
為替差益	522	348
その他	279	132
営業外収益合計	871	568
営業外費用		
支払利息	200	199
その他	20	44
営業外費用合計	220	243
経常利益	7,346	4,879
特別利益		
固定資産売却益	3	8
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	3	8
特別損失		
固定資産除売却損	19	27
災害による損失	85	—
特別損失合計	104	27
税金等調整前四半期純利益	7,245	4,860
法人税、住民税及び事業税	1,776	1,284
法人税等調整額	351	314
法人税等合計	2,127	1,598
四半期純利益	5,117	3,261
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,240	2,879
非支配株主に帰属する四半期純利益	877	382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	51
為替換算調整勘定	51	660
退職給付に係る調整額	27	28
その他の包括利益合計	111	740
四半期包括利益	5,229	4,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,395	3,518
非支配株主に係る四半期包括利益	833	483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額(注)
	電子部品物流事業	商品販売事業	消費物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,582	18,642	21,010	93,235	—	93,235
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	53,582	18,642	21,010	93,235	—	93,235
セグメント利益	4,736	951	1,007	6,695	—	6,695

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額(注)
	電子部品物流事業	商品販売事業	消費物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,357	20,347	21,800	89,505	—	89,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	47,357	20,347	21,800	89,505	—	89,505
セグメント利益	2,709	878	966	4,554	—	4,554

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。